

公衆衛生看護学概論	2年・前期	2単位	教授 石原 美由紀 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310892

1. 授業のねらい・概要

地域にはさまざまなライフサイクルや健康レベルにある人々が生活している。公衆衛生看護は自治体の保健師を中心に、個人・家族・集団・組織を対象としてとらえ、地域の人々の健康課題を明らかにし、予防や健康危機への対応を中心にQOLの向上をめざす取り組みを行っている。公衆衛生看護の理念および目的、保健師の役割と機能を理解し、公衆衛生看護活動の特性と方法について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 公衆衛生看護の理念と目的を理解する。
2. 公衆衛生看護の対象、活動の特性および方法を理解する。
3. 公衆衛生看護活動の場と展開方法を理解する。
4. 社会環境の変化に伴う健康課題の変遷と関連法規について理解する。

3. 授業の進め方

2年次から開講される公衆衛生看護学の導入部として位置づけ、公衆衛生看護学の基本的な考え方や、保健師の業務・役割および保健師の活動の場や特性など、ポイントを絞って授業を進める。生まれる前から保健師活動には関わりがあるにもかかわらず、学生にとっては見えにくい保健師の仕事について理解を深められるようにする。

4. 授業計画 水曜日2限

1. 公衆衛生看護とは 理念と目的・基本概念とその活用(石原美由紀)	4/17	9. 公衆衛生看護の活動方法 地域診断(島田 昇)	6/19
2. 公衆衛生を担う看護職の目的と実践の場(石原)	4/24	10. 公衆衛生看護の活動方法 活動計画の策定・実践・評価(石原)	6/26
3. 公衆衛生看護の歴史(橋本いずみ)	5/8	11. 生活環境の変化と健康問題(島田)	7/3
4. 公衆衛生看護の対象一人～組織・機関の特性一(石原)	5/15	12. 公衆衛生看護活動に関する法令(島田)	7/10
5. 公衆衛生看護の対象一地域住民の健康課題(石原)	5/22	13. 国際協力・国際看護(島田)	7/17
6. 行政における公衆衛生看護活動(石原)	5/29	14. 公衆衛生看護の活動方法 地区活動とコミュニティにおける看護活動(石原)	7/24
7. 在宅看護・産業保健・学校保健(石原)	6/5	15. 公衆衛生看護管理(石原)	7/31
8. 公衆衛生看護活動の特性(石原)	6/12		

5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席した者)70%、課題レポート30%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト: 荒賀直子, 後閑容子(2017) 公衆衛生看護学.jp 第4版データ更新版
インターメディカル

参考文献: 金川 克子 他(2018): 標準保健学講座Ⅰ公衆衛生看護学概論, メヂカルフレンド社

7. 準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲内について、キスト内容の熟読し、予習(60分)程度を行うこと。
受講後は講義内容をノートにまとめる復習(60分)を実施すること。

8. 受講上の留意事項

テキストで指定された範囲は事前に読んだうえで授業に臨みましょう。日常的に新聞を読みニュースに触れるように心がけましょう。また、図書館を積極的に利用し文献や専門雑誌に目を通す習慣をつけましょう。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験実施の際に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。